

## 神奈川県立小田原養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

|           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| 審議会等名称    | 令和4年度神奈川県立小田原養護学校第4回学校運営協議会   |           |
| 開催日時      | 令和5年2月24日（金）10：00～12：00   |           |
| 開催場所      | 神奈川県立小田原養護学校 応接室  |           |
| 出席者       | 委員8名（うち欠席3名） 事務局7名  |           |
| 次回開催予定日   | 令和5年5月24日（水）（予定）  |           |
| 問合せ先      | 小田原養護学校湯河原校舎 副校長 鈴木<br>電話 0465-60-1800(直通) FAX 0465-60-1805<br>本校（小田原校舎）<br>電話 0465-37-2758(直通) FAX 0465-37-5356  |           |
| 下欄に掲載するもの | 議事録   | 議事概要とした理由 |
| 審議(会議)経過  | <p>1 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末でお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。曾我梅林は満開の時季を迎え、松田山の河津桜が咲き、春めいてきました。本日は年度末の総括として、活発なご意見をお願いしたい。</li> </ul> <p>2 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。ご参加いただいている方には、ぜひ忌憚ないご意見を申し上げます。小田原校舎、湯河原校舎、大井分教室の三つの学びの場で日々成長を積み重ねてきました。残念ながら、病気や事故により2名の児童が亡くなりました。児童生徒及び教員のコロナやインフルエンザ陽性者の発生や、高A2年臨時休業等があり、感染防止については目に見えないため苦勞があります。</li> <li>・学校評価に関する保護者アンケートの結果とともに最終的にまとめ、評価をしますので、皆様からのご意見をいただきたい。</li> </ul> <p>3 学校評価部会</p> <p>① 学校評価（年度末評価）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザインをもとにした4年間の学校教育計画から、今年度目標設定した5つの項目についての校内評価（達成状況、課題・改善方策等）、学校関係者評価（保護者アンケート）について報告する。＜①～⑤項目の評価内容について、資料より報告＞</li> </ul> |           |

- ① 教育課程 学習指導
- ② 生徒指導・支援
- ③ 進路指導・支援
- ④ 地域等との協働
- ⑤ 学校管理 学校運営

<学校評価についての意見・質疑応答>

●学校関係者評価（2月 24 日実施）保護者アンケートの回収率が 55.3%になっているが、昨年度の回収率は？ また、給食がストップした件については？

⇒昨年度のアンケート回収率は 56%、一昨年についても同程度であり、60%を超えていない現状がある。

●保護者のご意見を聞く貴重な機会であり、回収率はデータの信頼性にも関わる。具体的にこうした方が、〇がつけやすいとの意見もあり、参考にすると良い。

⇒実施報告が足りていないと感じる。回収率を高めていきたい。

●給食提供ができなかった件について

⇒夏休み検査業者が水道水の水質検査を行い、大腸菌は検出されなかったが、他の菌が検出され給食を止めることになった。夏休みで水道の使用が少なく、体育室のある棟の水道は、特に水の動きが少なかったため、細菌が増えたと思われる。再検査を行い、検査の結果が出るまでに時間がかかったため、結果 1 か月弱給食を止めることになった。再検査の結果、細菌は 0 になった。今後、検査時期や採取方法について検討する。非常にご迷惑とご負担をおかけしました。

●再発防止に向けた対策をお願いします。

② 学校の状況について

- ・小 A 2 学期図工作品
- ・小 A 2 校外学習
- ・小 B 2 学期の様子
- ・中 A 2 学期の様子
- ・中 B 2 学期の様子

- ・高 A 2 学期の様子
- ・部活動の様子 (特体連)
- ・大井分教室 2 学期の様子
- ・湯河原校舎 2 学期の様子
- ・スノーズレン体験・B 部門
- ・西湘高校吹奏楽部交流会
- ・自作教材展
- ・給食の紹介 (湯河原校舎)

### ③ 意見交換

#### ●自作教材展はいつ頃、どんな方を対象にしているか？

⇒1 月公開授業に合わせ自作教材展を行った。地域の小中学校や県特別支援学校の先生方が対象になる。教材展は授業で使っている自作教材等を一室に展示し、校内でも見学するようにして授業に生かせるようにした。3 年ぶりの開催となり、ティーチャーズカレッジより 8 名、地域の小中学校及び教育委員会から 45 名程の参加があった。

#### ●すばらしい取り組みだと思います。

●保護者アンケートに学校内の様子が知りたいとのご意見や交流を増やしてほしいと意見がある。令和 2 年・3 年に比べて機会は増えている印象を受ける。ホームページでは伝えていても、以前のように知りたいという要望がある。福祉サービス事業所でも同様である。

⇒さらにオープンな形での可能性を探っていく。

●保護者アンケート地域との協働については、高い項目と低い項目がある。厳しい部分もあるが、切れ目ない支援部会でもぜひ検討したい。

⇒保護者の方に学校が地域とどのように連携しているかが分かりにくい。ホームページやお便りで発信しているが、伝えきれていない。実際に目で見たい要望に応え機会をつくっていききたい。

⇒コロナ禍で今まで通り情報を得るのが困難な状況だったが、団体での見学も再開した。少しずつ機会を増やしていく。

●スノーブレン体験は展開している業者が少なく、費用もかかるため、持続的に取り組みづらい。東洋大学の協力については、有償か無償か。どのような形で行われているのか。

⇒大学には無償で協力をいただいている。代わりに授業の様子を大学にお伝えしている。教員対象で研修を行っている。教材展示についてもできると良い。

⇒座間養護学校から赴任した PT の人脈から小田原養護学校でもどうかと話をいただいた。

●大学の研究協力にもなり、Win Win の関係になれるのが良い。

●3月から地域福祉フェアにて普及・啓発を行う。事前に決めておけば、校外学習で来てもらう等、協働もできる。3月1か月間オンライン開催し、3月4日、3月20～22日はイベント開催を行う。

#### ◎部会会議

- 1 切れ目ない支援部会
- 2 防災部会

#### ◎学校運営協議会

##### ① 部会報告など

・切れ目ない支援部会（支援連携部長）：ST・OT 専門職に関する保護者周知を行う。次年度、他職種との連携、地域のセンター的機能として地域の小学校への派遣報告、未就学保育園・保育園との連携について報告を行う。インクルーシブ教育について他職種ともディスカッションを行う。基幹相談支援センターでの、ヤングケアラー、ひきこもり等の事例検討に合わせ、インクルーシブ教育に関するディスカッションについても行えると良い。

・防災部会（管理部長）：次年度にむけ、避難訓練では、学校全体での応援体制のもと、B部門の垂直避難訓練等を継続して行う。東日本大震災後、時間の経過とともに忘れてしまう。災害は突然起こるので、予告なしの訓練として、シェイクアウト訓練を検討する。地域との連携では、湯河原・小田原校舎ともに、緊急時の協定書についての確認を行う。防災設備面では、湯河原校舎の太陽光発電の活用についての情報共有と、小田原校舎でも太陽光発電の要望を上げていく。

|  |  |
|--|--|
|  | <p>② まとめ</p> <p>○校長</p> <p>高等部卒業式が3月10日、小中学部卒業式が3月17日に行われる。学校運営協議会からも参加していただきかったが、コロナの影響で卒業式、入学式についても外部からの参加を見合わせる事になった。来年度、小田原養護学校から小田原支援学校に校名の変更がある。保護者評価、学校運営協議会委員の評価をまとめ、より良い学校運営に努めていく。ありがとうございました。</p> <p>○会長</p> <p>学校運営協議会及び各部会では、様々な取り組みについての報告や今後の方向性が示された。今年度の学校運営協議会は終了となる。次年度校名が変わるが、名は体を表すと言う。単に名称を変更することではなく、それぞれが輝いていられる学びの場となることをお祈りして終了とします。</p> |
|--|--|